

湖のような不知火海のように
ゆるりとお届けします。

2021年
2月15日
発行

発行所 天草海部
〒861-6303 熊本県天草市栖本町馬場215
Mail: amakusaumibu@yahoo.co.jp
URL: https://umi-bu.com/

広告募集



天草海部は
地域の水産業
地域の海洋教育
を支援しています

天草市長選で見る天草の海の未来を考える特集号

天草市長選候補者2名

未来の天草の水産業への思い語る

バレンタインデーの2021年2月14日曜日午前、天草市長選出馬の元市議の池田裕之氏(69、河浦町)と、無所属新人で会社代表の馬場昭治氏(52、本渡町)の両陣営はそれぞれ天草市内で出陣式を行った。天草海部では、事前に両者に未来の天草の水産業に関する4つの質問を行い、両者からの回答を記事にし、皆で天草の経済的自立を支える産業の一つである水産業の未来について考える機会にする。

質問内容

- (1) 新規漁業就業者研修事業の天草独自の支援は今後どうしたほうが良いとお考えですか？
- (2) 新規就労支援において、これまでの経験則だけじゃないデータを活用した漁業の推進についてどうお考えですか？
- (3) 地球温暖化により、海環境の変化はますます加速していくと思われまます。また、今後もコロナ禍のような事態が起きないとも限りません。今後天草で安心して水産業を継続していくためにどうすれば良いとお考えですか？
- (4) 通常の小売り・流通・物流ルートから外れているような天草の今後の戦略について教えてください。

回答

(1) 池田氏…新規漁業就業者研修事業：基本的には続けるべきだと考えます。しかし、漁業や農業

は憧れや美味しい食料の供給などという理論のみでは難しいことが多くあります。現に、ミカン農家に入られた方は、インターネットでの販売や加工など夢を一杯持って来られましたが、土曜日の作業や日曜日は休みとの認識で自然と向き合う覚悟が無く帰って行かれました。現状としては、土日の休日や勤務時間が定められている方が良く



新規就労支援事業で支援を受けている若者が親方と先輩から働きながら底引き網漁を学ぶ様子(天草市有明町沖)

思いですが、漁業や農業は自然との闘いの場合もあります。社会人コースを設けて漁業の基礎を学ぶ学校として提案できればと思います。「その手足を低きに働かせ、その心を高き天に置き」です。好きになることが第一、そして、稼ぎがついて来ると思っています。

馬場氏…仮に終わるのであれば人や効果がなかったのだからと思います。確認して原因を調べて、見直して継続していく必要と考えています。

(2) 池田氏…現在は機器が発達し探知機など多く活用されています。経験則のみでなくデータの活用は、もちろん必要だと思えます。でも、経験技術+データが良い漁師となる秘訣と思えます。

馬場氏…「IT」を活用したスマート漁業は今後推進していきたいと考えています。補助金漬けに考えていきたくありません。民間レベルで成功事例を参考にチャレンジできる体制を作りたい。養殖業でも新規就労支援を将来進めていくべきと考えています。3x(き

つい・汚い・危険)をスマートフォンで解決することで、将来的に海の世界も守れる。2に

とって代われない職である養殖業を支援していくために若い人が入りたくなるような漁業を目指す。これらに関し、勉強してから再度よく考えるように考えていきたい。

牛深の雑節は生産量日本一。棒受け網漁などの地元漁師や地元の薪を利用し地元林業とも密接な関係を持つ(天草市牛深地区)



棒受け網漁の水揚げの様子



棒受け網漁の水揚げの様子



薪で炊いている途中の雑節

